

令和6年度大豆生育定期調査結果 No.4 (北上市 成熟期の生育・収量・品質)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 水田利用研究室 (TEL:0197-68-4412、FAX:0197-71-1081)

1 生育・収量

6/6播種のリュウホウ、シュウリュウについて、成熟期は平年に比べ4～5日早く、倒伏は平年に比べ少なかった。また、成熟期に葉が残る青立ち株も散見されたが、青立程度は概ね平年並であった。成熟期における生育は、主茎長は平年に比べ10cm程度短く、稔実莢数はリュウホウでやや少なく、シュウリュウでやや多かった。また、両品種とも大粒（粒径7.9mm以上の粒数）割合が平年より少なく、百粒重が平年より軽かったため、子実重は平年より少なかった（表1）。子実肥大期（8月下旬～9月中旬）の高温や9月第2、3半旬の乾燥が、粒の充実を阻害したことが推察される（図1）。

6/20播種のリュウホウでは、6/6播種の同品種と比べ、成熟期は10日遅く、青立がやや目立ったものの、主茎長は10cmほど長かった。また、一莢内粒数は少なかったが、百粒重が重かったため、子実重は6/6播種のリュウホウと同程度であった（表1）。

表1 成熟期調査・収量調査結果

品種 (播種日)	年次	成熟 期	諸障害発生程度			主茎 長	主茎 節数	分枝 数	稔実 莢数	一莢内 粒数	子実重	百粒重	大粒 割合
		(日)	倒伏 (0-5)	青立 (0-5)	蔓化 (0-5)	(cm)	(節/株)	(本/株)	(莢/m ²)	(粒/莢)	(kg/a)	(g)	(%)
リュウホウ (6/6播種)	R 6年	10/10	0.0	1.0	0.0	48.1	14.0	4.9	679	1.83	34.9	31.5	64.9
	平年	10/14	0.6	1.1	0.2	58.2	14.8	5.2	724	1.94	47.7	35.7	87.8
	平年差・比	-4	-0.6	-0.1	-0.2	-10.1	-0.8	-0.3	94%	94%	73%	88%	-22.9
	(参)R 5年	10/18	1.0	2.5	1.0	64.8	15.3	4.5	812	1.87	49.8	34.8	85.6
シュウリュウ (6/6播種)	R 6年	10/7	0.0	1.0	0.0	51.5	15.1	4.7	725	1.83	36.1	30.9	84.0
	平年	10/12	0.8	1.2	0.3	61.2	15.7	4.8	661	1.85	41.1	35.9	93.2
	平年差・比	-5	-0.8	-0.2	-0.3	-9.7	-0.6	-0.1	110%	99%	88%	86%	-9.2
	(参)R 5年	10/16	0.0	2.0	0.5	68.1	15.8	4.4	719	1.83	43.8	32.7	89.8
(参考)	R 6年	10/20	0.5	2.0	1.5	58.3	13.7	3.8	669	1.57	34.5	34.3	78.0
リュウホウ (6/20播種)	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年差・比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1:「リュウホウ（6月20日播種）」は単年度のデータにつき参考値。

※2:「平年」は過去5か年（令和元～5年）の平均値（以下、特に断りのない限り同様）。

※3:「諸障害発生程度」は、0（無）～5（甚）の6段階評価。いずれの障害も圃場における観察による評価。

※4:「子実重」は粒径5.5mm以上の坪刈収量。 ※5:「大粒割合」は粒径7.9mm以上の割合。

2 品質

外観品質は6/6播種の両品種とも概ね平年並であった。農産物検査では、リュウホウで「粒揃」および「しわ」による落等が見られたものの、等級は両品種とも平年より良好であった。障害粒については、両品種とも「莢ずれ」粒は昨年よりもかなり少なかったものの、「しわ」粒（特に、ちりめんじわ）が平年よりも目立った（表2）。子実の充実不足や成熟期頃の断続的な降雨が、「しわ」粒の発生を助長したことが推察される（図1）。

6/20播種のリュウホウは6/6播種の同品種に比べ、しわ粒の割合はやや少なかったが、外観品質および検査等級は同等であった（表2）。

表2 品質調査結果

品種 (播種日)	年次	外観	農産物検査		障害粒の発生割合(%)												莢ずれ
		品質 (1-7)	等級 (1-10)	落等 理由	紫斑	褐斑	べと	腐敗	裂皮	しわ		未熟	虫害				
										ちりめん	亀甲		マダシクイ付	カメシ類	アサジヒ	ヒメムシ	
リュウホウ (6/6播種)	R 6年	3.5	3.5	粒揃、しわ	0.0	0.0	0.2	0.0	5.0	30.8	0.5	2.7	0.0	1.6	1.4	0.7	
	平年	3.7	4.9	-	0.7	0.1	0.4	0.4	6.7	7.5	1.2	3.5	0.3	1.3	0.6	-	
	平年差	-0.2	-1.4	-	-0.7	-0.1	-0.2	-0.4	-1.7	+23.3	-0.7	-0.8	-0.3	+0.3	+0.8	-	
	(参)R 5年	5.5	10.0	裂皮、莢ずれ	2.0	0.0	0.0	1.1	15.6	1.8	1.4	2.0	0.0	4.1	1.6	41.5	
シュウリュウ (6/6播種)	R 6年	3.0	3.0	-	0.0	0.2	0.2	0.0	4.8	23.3	0.0	1.4	0.2	3.2	1.3	2.3	
	平年	4.0	4.2	-	1.6	0.1	1.9	0.4	7.5	4.1	1.3	3.3	0.2	1.8	0.4	-	
	平年差	-1.0	-1.2	-	-1.6	+0.1	-1.7	-0.4	-2.7	+19.2	-1.3	-1.9	±0	+1.4	+0.9	-	
	(参)R 5年	6.0	10.0	裂皮、莢ずれ	3.3	0.3	0.0	1.0	14.8	3.8	1.3	1.5	0.0	5.3	1.3	38.3	
(参考)	R 6年	3.5	3.5	粒揃	0.0	0.2	0.2	0.0	7.2	23.8	0.3	1.4	0.0	1.5	2.6	1.0	
リュウホウ (6/20播種)	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	平年差	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1：「外観品質」は1（上上）～6（中下）、7（下）の7段階評価。
 ※2：「等級」は1（1等上）～9（3等下）、10（規格外）の10段階評価。
 ※3：「裂皮」および「しわ」は軽微なものを含む。 ※4：「莢ずれ」は2か年（R6、R5年）のみの評価。

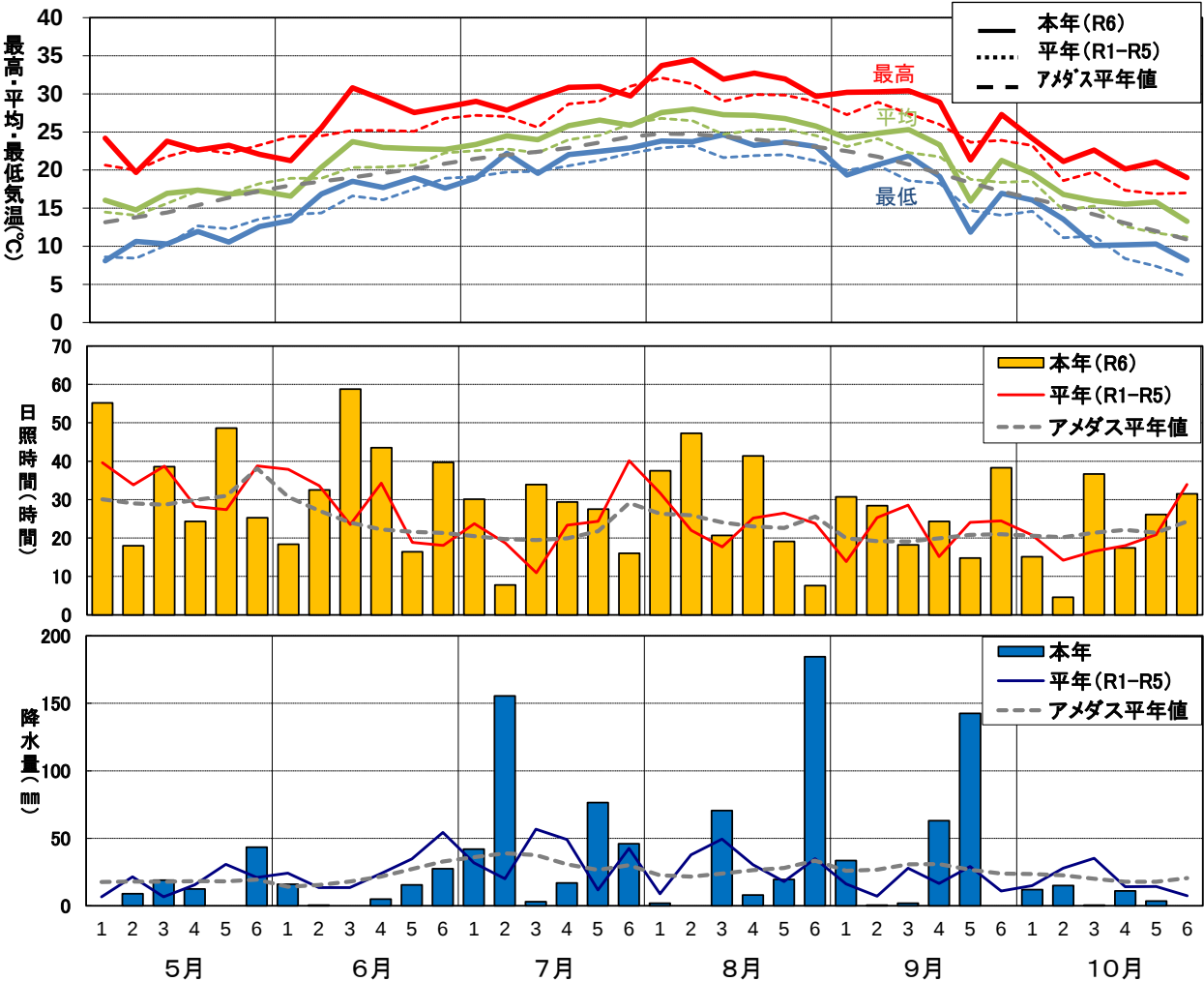


図1 気象経過図（アメダス北上）

※1：「平年」は令和元～5年の5か年の平均値。
 ※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30か年平均。

＜耕種概要＞

- 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m 淡色多湿黒ボク土（水田転換2年目）
- 播種日：6月6日（リュウホウおよびシュウリュウ）、6月20日（リュウホウのみ）
- 栽植密度 6月6日播種：9.5株/㎡（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
6月20日播種：14.3株/㎡（畦間70cm、株間10cm、1株1本仕立て）
- 施肥量（kg/10a）：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥1t/10a
- 雑草防除：エコトップP乳剤 600mL/10a（播種後出芽前）
- 中耕・培土 6月6日播種：7月2日、7月18日、6月20日播種：7月18日